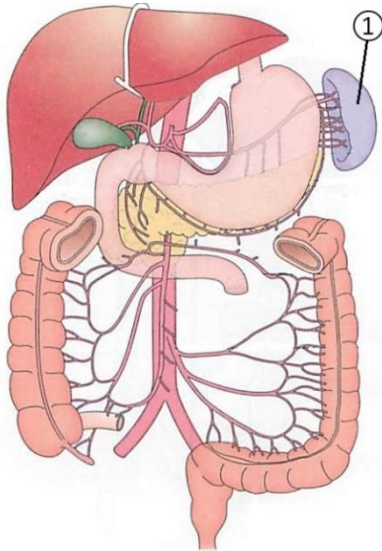
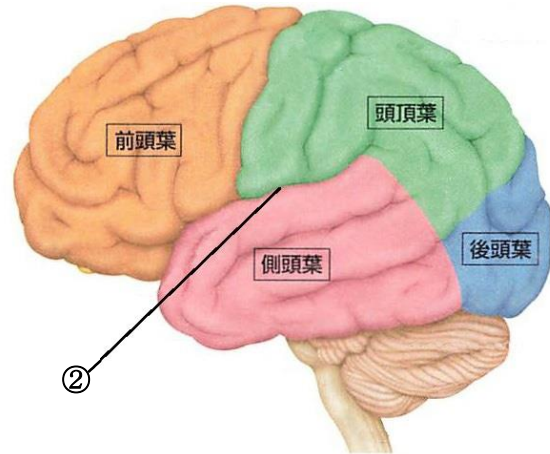


令和8年度 千葉県立野田看護専門学校 一般入学試験問題
解 剖 生 理

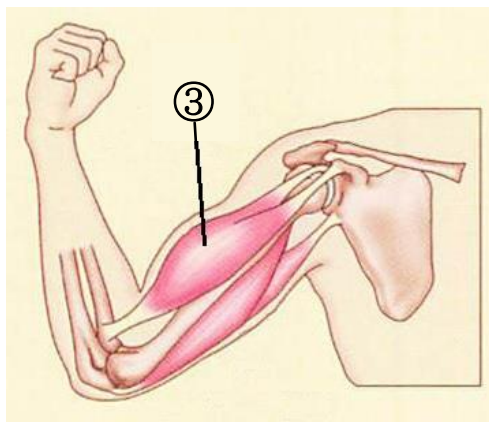
問題1～10 は適切な語句を解答欄に記入しなさい。



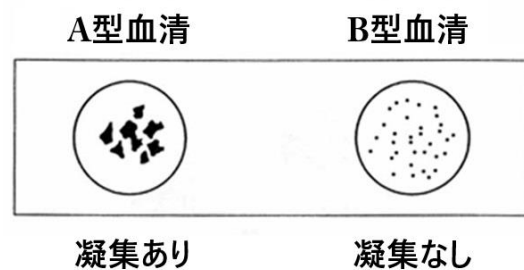
問題1



問題2



問題3



問題4

問題1. 消化器系の模式図を示す(上図上段左図)。①の臓器名を記しなさい。

問題2. 大脳皮質の模式図を示す(上図上段右図)。②の溝の名前を記しなさい。

問題3. 上肢の筋肉の模式図を示す(上図下段左図)。③の筋肉名を記しなさい。

問題4. 血清に血液を混和した結果を図に示す(上図下段右図)。血液型を記しなさい。

問題5. 胎児の循環で右心房と左心房をつなぐ穴の解剖学的名称を記しなさい。

問題6. 唾液に含まれるでんぷんの消化酵素を記しなさい。

問題7. 肋骨の本数は何対あるか記しなさい。

問題8. 赤血球の産生に關与するホルモン名を記しなさい。

問題9. 尿を生成する最小の機能単位の組織名を記しなさい。

問題 10. 成人女性の基礎体温を周期的に上昇させるホルモン名を記しなさい。

問題 11～30 は選択肢の番号を解答欄に記入しなさい。

問題 11. ミトコンドリアで産生されるのはどれか。1つ選べ。

1. ATP 2. 酸 素 3. アミノ酸 4. ブドウ糖

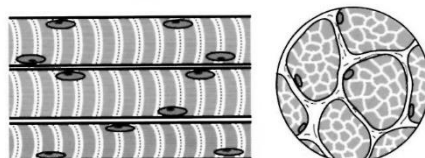
問題 12. 心室筋の特徴はどれか。1つ選べ。

1. 運動神経支配である。 2. 随意筋である。
3. 横紋を確認できる。 4. 多核の細胞である。

問題 13. 筋肉の横断面と縦断面の模式図を示す。

この筋肉が存在するのはどれか。1つ選べ。

1. 胃 2. 舌 3. 空 腸 4. 毛様体



問題 14. 神経筋接合部での伝達物質はどれか。1つ選べ。

1. アセチルコリン 2. アドレナリン 3. セロトニン 4. ノルアドレナリン

問題 15. 膝蓋腱反射の反射中枢が存在するのはどれか。1つ選べ。

1. 視 床 2. 小 脳 3. 延 髄 4. 脊 髄

問題 16. 臓器感覚はどれか。1つ選べ。

1. 触 覚 2. 胃 痛 3. 空腹感 4. 平衡感覚

問題 17. 線維素溶解現象(線溶)に関与するのはどれか。1つ選べ。

1. アルブミン 2. フィブリノゲン 3. プラスミン 4. トロンビン

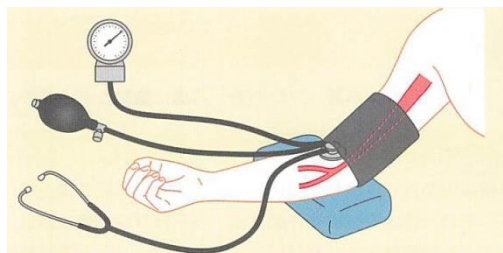
問題 18. 左右、対で存在しないのはどれか。1つ選べ。

1. 冠状動脈 2. 腕頭動脈 3. 総頸動脈 4. 鎖骨下動脈

問題 19. 血圧測定時の模式図を示す(右図)。

測定している動脈はどれか。1つ選べ。

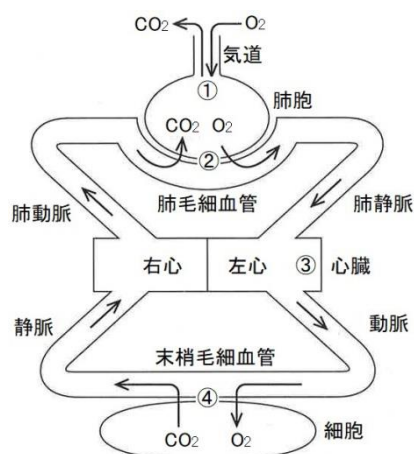
1. 大動脈 2. 腋窩動脈
3. 上腕動脈 4. 橈骨動脈



問題 20. 体内での酸素と二酸化炭素の運搬の模式図を示す(右図)。

外呼吸はどれか。1つ選べ。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④



問題 21. 1 回換気量の容量(mL)はどれか。1つ選べ。

1. 150mL
2. 500mL
3. 1,500mL
4. 3,500mL

問題 22. 消化管内腔表面積の広さに関与していないのはどれか。1つ選べ。

1. 腸絨毛
2. 微絨毛
3. 輪状ヒダ
4. 結腸ヒモ

問題 23. 胸管を通過するのはどれか。1つ選べ。

1. 脂肪酸
2. アミノ酸
3. ブドウ糖
4. ビタミン C

問題 24. 胃酸分泌細胞が分泌する内因子と関連するのはどれか。1つ選べ。

1. ビタミン A
2. ビタミン B₁₂
3. ビタミン D₃
4. ビタミン E

問題 25. 成人男性の 1 日の糸球体濾過量(L)はどれか。1つ選べ。

1. 約 1.5(L)
2. 約 30(L)
3. 約 90(L)
4. 約 180(L)

問題 26. 原尿からの水の再吸収量が最も多いのはどれか。1つ選べ。

1. 近位尿細管
2. ヘンレループ下行脚
3. 遠位尿細管
4. 集合管

問題 27. カルシトニンで正しいのはどれか。1つ選べ。

1. ステロイドホルモンである。
2. 破骨細胞数を増加させる。
3. 甲状腺から分泌する。
4. 血中カルシウム濃度を上昇させる。

問題 28. 副甲状腺から分泌するホルモンが関与するのはどれか。1つ選べ。

1. 血圧
2. 体液量
3. 血糖値
4. 血中カルシウム濃度

問題 29. 核心温度に最も近いのはどれか。1つ選べ。

1. 腋窩温
2. 口腔温
3. 鼓膜温
4. 直腸温

問題 30. 体温について正しいのはどれか。1 つ選べ。

1. 早朝の体温は夕方より低い。
2. 小児の体温は成人より低い。
3. 排卵後体温は低下する。
4. 食後体温は低下する。